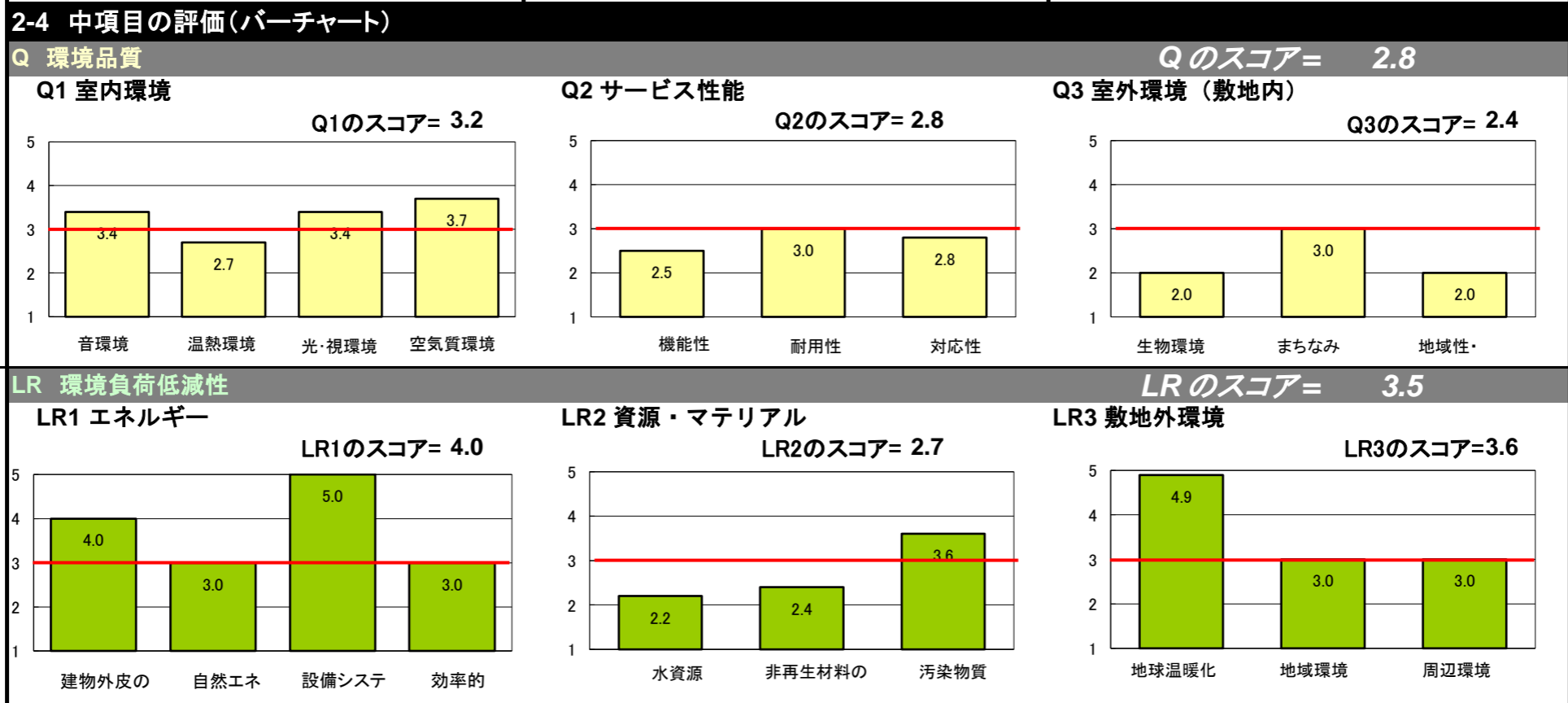
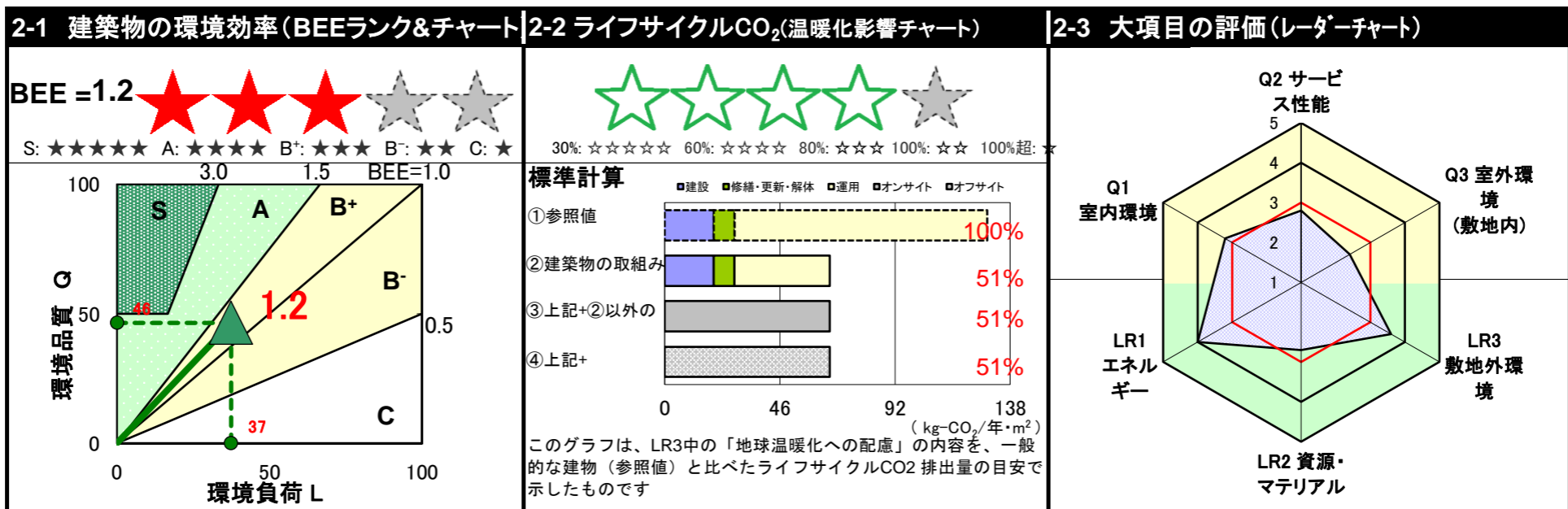
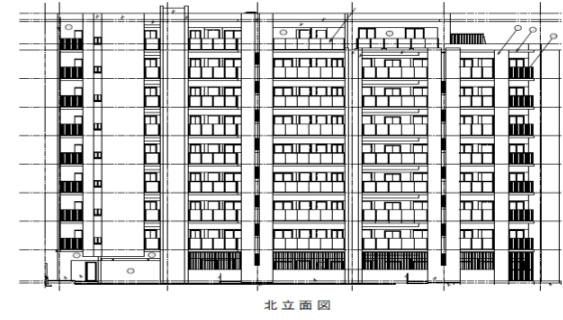


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)一宮市八幡計画	階数	地上9階
建設地	愛知県一宮市八幡四丁目5番8	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	180人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年10月26日
敷地面積	1,534 m ²	作成者	森田 俊和
建築面積	582 m ²	確認日	2020年11月2日
延床面積	3,556 m ²	確認者	渡邊 穰



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>4.9</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>41.6 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>2.6</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	評価点	評価点	重み係数	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		重み係数	全体	
					評価点	評価点	評価点	評価点			
Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 室内騒音レベル		0.1	4.0	0.15	3.3	3.3	1.00			3.4	
1.2 遮音		0.5	5.0	0.50		3.6	0.50				
1 開口部遮音性能			5.0	1.00		5.0	0.30				
2 界壁遮音性能						3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	0.20				
1.3 吸音											
2 温熱環境											
2.1 室温制御		0.3	2.2	0.35	2.7	2.7	1.00			2.7	
1 室温		0.5	2.2	0.50	3.3	3.3	0.50				
2 外皮性能		3.0	3.0	0.63		3.0	0.63				
3 ゾーン別制御性		5.0	1.0	0.38		4.0	0.38				
2.2 湿度制御		3.0	1.0	0.20		1.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.30		3.0	0.30				
3 光・視環境											
3.1 昼光利用		0.2	2.4	0.25	3.6	3.6	1.00			3.4	
1 昼光率		0.3	3.0	0.30	4.0	4.0	0.30				
2 方位別開口		3.0	-	-		5.0	0.50				
3 昼光利用設備		3.0	3.0	1.00		3.0	0.30				
3.2 グレア対策		0.3	1.0	0.30	4.0	4.0	0.30				
1 昼光制御		5.0	1.0	1.00		4.0	1.00				
3.3 照度		3.0	3.0	0.15		3.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.25		3.0	0.25				
4 空気質環境											
4.1 発生源対策		0.2	3.6	0.25	3.7	3.7	1.00			3.7	
1 化学汚染物質		0.6	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63				
4.2 換気		0.4	3.0	0.40	3.3	3.3	0.38				
1 換気量		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33				
2 自然換気性能		3.0	-	-		4.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33				
4.3 運用管理											
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-		-	-				
2 喫煙の制御		3.0	-	-		-	-				
Q2 サービス性能											
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	2.4	0.40	2.6	2.6	1.00			2.5	
1 広さ・収納性		0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.60				
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	-		3.0	1.00				
3 バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	1.00		-	-				
1.2 心理性・快適性		0.3	1.0	0.30	2.0	2.0	0.40				
1 広さ感・景観 (天井高)		3.0	-	-		3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-		-	-				
3 内装計画		3.0	1.0	1.00		1.0	0.50				
1.3 維持管理		0.3	3.0	0.30							
1 維持管理に配慮した設計		3.0	3.0	0.50							
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50							
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	3.0	0.31						3.0	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48							
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80							
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	3.2	0.33							
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23							
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②		2.0	0.23							
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			5.0	0.09							
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08							
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.15							
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23							
2.4 信頼性		0.1	3.0	0.19							
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20							
2 給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20							
3 電気設備		3.0	3.0	0.20							
4 機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20							
5 通信・情報設備	②	3.0	3.0	0.20							

3 対応性・更新性				0.2	3.0	0.29	2.8	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	-	2.6	2.6	0.50	
1 階高のゆとり				-	-	-		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	-	-		2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	-		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				1.0	3.0	1.00	-	-	-	
1 空調配管の更新性		②		-	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		独自③		-	2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		-	3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	2.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性										3.5
LR1 エネルギー						0.40		-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	3.0	4.0	0.33		-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.17		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI] = 0.73	3.0	5.0	0.33		-	-	5.0
4 効率的運用				0.1	3.0	0.17		-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-		-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-		-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-		-	-	
集合住宅の評価				1.0	3.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	0.50		-	-	
LR2 資源・マテリアル						0.30		-	-	2.7
1 水資源保護				0.1	2.2	0.15		-	-	2.2
1.1 節水				3.0	1.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	1.00		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	-	-		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.4	0.63		-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		②		-	2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		独自		-	3.0	0.24		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		3.0	1.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	2.0	0.05		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		3.0	3.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.6	0.22		-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	4.0	0.68		-	-	
1 消火剤				-	-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材等を使用している。	-	5.0	0.50		-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境						0.30		-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して	-	4.9	0.33		-	-	4.9
2 地域環境への配慮				0.3	3.0	0.33		-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			物件は燃焼設備を使用していない。	-	5.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.0	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減		独自		-	3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制		独自		-	3.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				-	3.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40		-	-	
1 騒音		独自		-	3.0	1.00		-	-	
2 振動		独自		-	-	-		-	-	
3 悪臭				-	-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制				-	3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制				-	1.0	-		-	-	
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				-	3.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30		-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)一宮市八幡計画

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.9	0.10	
② 資源の有効活用				2.6
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:41.6%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 一宮市八幡計画

計画上の配慮事項	
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。
Q1 室内環境	開口部遮音性能:T-2以上。日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。住居: 2.0% ≤ [昼光率]。JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保している。
Q2 サービス性能	床: フローリング → 30年、壁: ビニールクロス貼 → 20年、天井: ビニールクロス貼 → 30年。主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。
Q3 室外環境(敷地内)	外構緑化指数: 43.2%。
LR1 エネルギー	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。[BEI] = 0.73。
LR2 資源・マテリアル	ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材等を使用している。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して51%。物件は燃焼設備を使用していない。
その他	特になし。